

ウイーランド氏：— 南洋杉化石林 (G. R. WIELAND : — The Cerro Cuadrado petrified Forest, 1935.)

現時の南洋杉科 (*Araucariaceae*) は南半球要素中最特色あるものゝ一なるが、三疊紀南米 Patagonia の Cerro Cuadrado 地方に古生南洋杉の森林があつた事は其化石林の発見によりて解る。今其化石林の化石種を擧ぐれば (G. KOIDZUMI)

Proaraucaria mirabilis WIELN.

Pararaucaria patagonica WIELN gen.sp. nov.

ハンデルマゼツチ氏：— 支那植物考察第七部顯花植物 (HEINRICH HANDEL-MAZZETTI : — Symbolae Sinicae VII. Teil *Anthophyta* Wien 1936). 本著は 731 page より 1186 page 迄 456 page にわたり、合瓣花類の各科につき多数の新しく支那に産するもの、新種、新説を發表してゐる。支那植物研究家は無論、日本植物研究者にとつても大切な文獻である。寫眞版が 47 箇あつて標品寫眞が出してあるがこれは可成り悪い圖版である。尙 ハンデルマゼツチ氏は日本の文獻を讀み落してゐるのが多数あるのは残念である。(北村四郎)

雜 報

か な め の き

肥後の山井、天草島、薩摩の出水、紫尾山等に、カナメノキと云ふ漆樹科の珍品を産す、一名チヤンチンモトギ、ギンノキとも稱す、學名は *Poupartia axillaris* (ROXB.) KING et PRAIN (= *P. Fordii* HEMSL.) である。

カナメノキ屬は FR. MATTICK 氏によれば世界に八種ある。Madagaskar に二種其東の Maskarenen 列島に三種、Brasil に一種、南支那に一種ありて、カナメノキのみは、印度、Siam 南支那より我九州に達してゐる。

い す の き 屬

イスノキ屬 (*Distylium*) は九種ありて、東印度、ジャバ、支那、日本南部、小笠原島に分布するものなりしが、近年中央亞米利加の Quatemala に *Distylium guatemalense* RADLK. なる一種が発見された。